

# 山背古道 探検ガイドブック



やましろ こどう  
山背古道へ

山背古道とは、京都と奈良の間、南山城の山際をゆるやかにうねりながら続いている一本の小径です。古墳や、古くからのまちや、人々のおしゃべり声、どこかなつかしい景色に出会えます。



あなただけの宝物を探しに…  
探検に出かけてみませんか？

探検に行こう





## やましろ どう 山背古道って？

城陽市、井手町、木津川市の  
3つの市や町を通る、

全長約25kmの散策道です。

山背古道周辺は、おだやかな里山と  
豊かな木津川の恵みを受け、育まれた  
独特の文化と風景が息づいています。

卑弥呼の謎を秘めた古墳、平家物語や  
山城の国一揆の舞台となった村々、  
梅の香たよう里山や、  
サワガニやホテルと遊べる川辺、  
そして人々の笑顔に出会えるまちかど…。

山背古道は、  
様々な「宝物」に出会える道です。



この「宝物」を探すこと…

これが「探検」です。

いつもより、少しアンテナをとがらせて、  
古道探検に出かけましょう。

それにはちょっとしたコツをつかめば、  
だいじょうぶ。

まず、なんだろう？と思う好奇心を大事にすること。

これが発見のはじまりです。

何かテーマを定めてみるのもいいですね。

より深い発見へとつながります。

この「探検ガイドブック」では、

歴史

自然

暮らし

3つの視点を紹介し、あなたの探検を手助けします。

## 探検のすすめ

山背古道  
アプリを見ながら山背古道を歩こう  
体験・体感  
アプリケーション

スマートフォン・タブレットで  
山背古道の地図を片手に、GPS機能を用いて、楽しく快適に山背古道沿線を歩けます。また、各市町の観光スポットの紹介や、山背古道の沿線に位置するお店（まちかど案内所）の紹介や、山背古道沿線に関するクイズも楽しめます。

端末 ● iOS端末、Android端末  
容量 ● App Store (15.8MB)  
Google Play (9.2MB)  
※各OSのライブラリの違いにより、若干差が生じます。  
言語 ● 日本語、英語対応  
入手先 ● iOS端末「App Store」  
Android端末「Google Play」

配信開始  
無料

iOS 端末用

Android 端末用

## 山背古道探検記

ところで「探検」って何？

まずは5人に、3つの市町(のほんの一本)を実際に探検してもらいました。

さあ、どんな発見があったのでしょうか？

昭和30～40年代、長池にお住まいだった  
ころのとおきの体験談含め、宿場  
町長池の、いきいきとした暮らし  
を探検してもらいます。



五陸上選手の力強い脚  
力を武器に、探検のロマンを足で追う郷  
土史家。

### 1. 長池宿場町くらし探検

宿場の町並みを探して

天井川で泳いで遊んだり、  
毎年「サンキラだんご」をつくったり、  
豊かな秋の井手を探検してもらいます。  
ちまきづくりからリースづくり、なんでもこなす  
創作派。



カブトムシ採りからマンタケまで、  
ポイント熟知のやんちゃ派。

### 2. 井手⇔多賀

身近な自然探検

教科書にも載っている「山城の国一揆」。  
名前は知ってるけれど、どうもピンとこ  
ない。当時につながる風景を探し、  
上粕を探検してもらいます。



地域の歴史を探り、輪を拓ける、  
山背古道探検隊隊長。

### 3. 上粕環状集落歴史探検

山城国一揆の面影を訪ねて

木津川べりの約3kmの道のりを、小学校  
へと毎日通った。  
恩恵を受け、ときに戦い、木津川ととも  
に生きてきた「木の津」のまちの人々の、  
くらしの知恵を探検してもらいます。



山城(やましろ)の復旧作業  
など、身近な歴史を掘り起こし、伝えてい  
く肉体系(?)のご住職。

### 4. 木の津くらし探検

木津川と暮らす人々











# 自然探検

11月も半ば、深秋の候。山背古道はまちの中、田畑、里山と、いろんな風景を通っていきますが、道中、足を止めるとそれぞれに、身近な自然がいっぱい見つかります。色づく秋、自然と親しみ、遊びながら、上井手から多賀へと、探検しました。

例えは「シブ」(竹の一種)を見つけたら？  
 例えは「シブ」(竹の一種)を見つけたら？  
 例えは「シブ」(竹の一種)を見つけたら？  
 例えは「シブ」(竹の一種)を見つけたら？

**バリバサのつくり方**  
 ① 落ちている竹を拾う。  
 ② 先端を割り、枝などをささむと完成！  
 ここに柿のじくをはさみ、ねじもぎとるのだ！

ここから望む **木津川** の眺めは最高！(標高 約90メートル)

JR城陽駅

なん！ **カワセ** がいたぞ！  
 清流のある山間部に住み、魚をとる鳥...なんだけど？

小学生のころ、南谷川は今よりもっと水量が多かった。石でせきとめて、**プール** につくて泳いだぞ。

**発見**  
**ゲンジボタル** の幼虫。  
 エサになる **カワセ**。巻き貝だよ。

山城多賀 711-711-711



**みんなが やってみたい 草花あそび**  
 赤い実のついた **サナエズラ** をくると巻いて、はい、リースのできあがり！  
 (アケビ、フジなど なんでもできるけど、「山のとうじ」をする気分、増えすぎたクズでつくってみて！)

**ひとくちメモ** 木津川と、なだらかな山々に周囲を囲まれたこの地域。農業に、生活に、あらゆる場面でその恵みを受けてきた人々はまた、豊かな自然遊びも知っていました。木津川で水泳、天井川で魚釣り、里山でマツタケ採り、春の田でレンゲ摘み...。比較的温暖で安定した気候のこの地域では、米のほか、茶、たけのこ、また、柿やみかん、ぶどうなど、果樹の栽培もさかんです。

**サナエズラ** をくると巻いて、はい、リースのできあがり！  
 (アケビ、フジなど なんでもできるけど、「山のとうじ」をする気分、増えすぎたクズでつくってみて！)

**見つけたよ 山のめぐみ**  
**サンキライ** (山帰来)  
 葉は利尿作用あり。昔、山で遭難した人が、おなかをこしらえたり、この葉、ほろをしがんで治り、無事帰って来た、という話からついた名前なんて。

**ムカゴ** 採りのコツは、ツルを引っ張らないこと。ムカゴを落とさないよう、下から手で受けとる。ツルの先にはジネンジョ (山の芋) があるよ！  
 わい山行ったとき、お茶の葉つんで、そのままき火であぶって飲んだぞ

**釣り**  
 釣れた？  
 うるせー!!  
 上井手へ。

**タケノコ**  
 タケノコを採る **モウシウ竹林**  
 春、サバズミをつくて竹の皮でつむとオイシイよ。

**タケノコ**  
 タケノコを採る **モウシウ竹林**  
 春、サバズミをつくて竹の皮でつむとオイシイよ。



# 歴史 山城国探検の面影を訪ね

## 上狛環濠集落

中世の南山城地方を舞台とする大きな出来事、「山城の国一揆」。そのころから続く環濠集落、上狛。周囲に堀割をめぐらし、地侍や農民たちが互いに協力しながら村を護ってきました。当時の様子を想像する手がかりを求め、上狛のまちを探索しました。



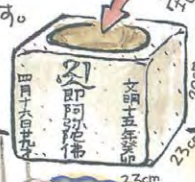
探検は想像力！  
目の前に見える風景に  
頭の中で描いた風景を  
重ねてみよう...

### 大合戦の日付入り！ 五輪塔の地輪

「文明十五年 四月十六日」と彫られた墓石の一部。  
1483年のこの日は 狛で大合戦があり 殿さんの  
息子が亡くなったとされている日。まさにその日  
その合戦で亡くなった人のお墓なのです。  
こんな形で合戦の証拠が残っています。

500年も前の墓石なのに周囲の  
無縁墓さんに比べ摩耗がが少ない  
お堂があって雨がからなかったのでは？  
ということは 地位のあった人??  
狛の北の護りを任されていた  
29才の息子の墓では??

殿さんの館にあって？ 大井戸  
名人のおじいさん達が「いぬいの井戸」、  
「狛どの井戸」と呼んでいた井戸。「いぬい」は  
西北をさすことから、館の西北にあったと  
仮定すると館の位置が推理できる？



大井戸  
というワケで  
おそろしくここが

殿さんの館

石屋敷

お姉さんが修行に使った  
石のお風呂。実はこの穴ぼこ  
穴ぼこが、ままだとして  
女の子達が ままごと  
うちに おいた穴！

上狛の  
前庭にあるよ

狛氏の館と似てる？  
**小林家住宅**  
(京都府京都市文化財)  
江戸時代初期に建てられた  
庄屋さんの家。(築400年近い。  
府下で最も古い民家のひとつ)  
国一揆の時代よりは少し  
新しいけれど 狛の殿さんの  
館もこんな感じだったの  
かもね。

### 環濠集落について...

村の外 村の中  
敵を寄せつけたい堀割の断面  
外部からの侵入を防ぐため堀をめぐらし、その内側には内部を  
見えにくくするため 竹林や雑木林となっていました。  
上狛の8つの門 集落から道が外へ出ている8ヶ所の地点  
には門が建てられ、村に出入りする人や荷物を取り締まっていた。  
通過するだけの人を門番が北の門から南の門まで付き添うことも  
あったんだって。(↑このマークが門のあったところ)

**ひとくちメモ** 京の都を中心に、全国の諸大名が東軍と  
西軍とにわかれて戦った応仁の乱。都に近い南山城地方  
はどちらの陣営にとっても戦略上重要なポイントでした。  
地侍のかしらである国人と、村人たちが団結してその勢力  
を退け、国人の合議による「自治」の国(惣国)を営みました。  
これを「山城の国一揆」といいます。  
上狛の他に城陽市の富野①、寺田、水主、枇杷庄、木津川  
市の椿井②、木津川市の中心部③、など中世の自治の村、  
惣村の面影を残す集落がいくつかあります。

堀割で  
囲まれた  
内側が  
環濠集落  
なんだよ。

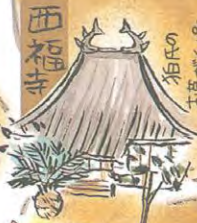
### 戦火の跡が残る 泉橋寺地蔵石

青空の下、突然現れる巨大な  
石地蔵。お堂は応仁の乱の戦火で  
焼き払われ、石仏も損傷。お顔と  
手は江戸時代に復元。

なぜ目 わかる？

焼け残った体の部分から想像  
してごらん。本当はこの石仏も  
大きかったんじゃないかな...

泉橋寺



この国に木々の  
進入路は曲がって  
外から敵が入り  
にくくなっているよ

室町時代の  
「かりんとう」を再現  
周辺のお店で  
買えますよ



しょうらい踊り  
中世から続く「念仏踊り」の一種。  
上狛では永らく絶えていた  
ものを復活させて、  
ここ数年 踊られて  
います。



この池の関を開くと  
環濠の水が川に流れ  
足洗池  
たなびいて  
たなびいて

木々のみなの共同井戸  
**郷井戸** ごういど

大井戸が殿さんの使ったものなら  
こちらは村のみんなが使ったもの。  
上狛のお母さん達の  
「井戸端会議」の舞台でした。



井戸の横に残るフシギな  
木の柱。これに横木を通し  
石を重りに  
結びつて水を  
汲み上げたんだって







## 今も残る 旧泉橋の橋台

古来、流されるたび、何度も架けられ続けた泉橋。京と奈良を結ぶ「街道」が、ここに川を渡っており、陸路としても要衝で、あたこの証拠にここに残る橋台は、528年の災害のとき流されて残ったもの。(上の写真は流される前の姿。)



数十年前、木津の河原はもっと広がった。川喜の前が舟付場になっていて、カボチャから川舟で下り、打ち網でとった「はいじゃこ」(もろこにイイた魚)をテナワにのせて、舟上でいたんだという川遊びが、川喜のおおやさんおねえさん

この辺りは川が、大きく蛇行して、流れが遅くなるから、架けやすい所でもあったんかな?



バレーボールの大会は、大津の川に、夏は水遊びに、あつた。



新しい橋は、緑地をかわいて、「三夫婦(男系子代か)とろった夫婦」に渡り初めをもらった。

# 木の津と探検

木津川暮らしの人たち

「津」は港をあらわす古い言葉。木津の地名は、奈良の都の建設のため大量の木材がこの地で荷揚げされ、「木の津」と呼ばれたことがはじまり。でも、「津」が機能していたのは、そんな大昔のことだけではありません。川とともに生きる「木の津」のくらしを探検しました。

木の津は、シルクロードの終着点か。



## 和泉の「はじまり」 上津遺跡

奈良の都の建設のため、木津には、大量の物資が荷揚げされたのが、ここ上津遺跡。シルクロードのはて、正倉院に今も伝わる異国の宝物は、やはりここを通っていたのでしょうか。

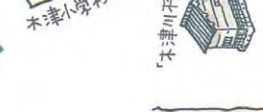
## 名「橋柱寺」大智寺の本尊は「橋の柱」

奈良時代、高僧行基が架けた橋が流された。残された橋柱が、時折不思議な光を放つ、というので、水中からあげ、刻んだとされるのが、御本尊の丈珠菩薩(重丈)。拝観要予約。



0774-72-2500 ◆拝観料 200円

御霊神社に保存されている\*松馬に江戸時代の木津の決の様子が、ここに「常夜燈」と「川喜」も描かれています。



以前は、松馬に描かれていた。泉橋



この辺り、おじいちゃんによく花がそなえてある。この辺りに、川のやさしい人が住んでるということかな。



## 木津惣墓五輪塔(重丈)

住宅地の中、不釣り合いなほど大きい。鎌倉時代のもので、洪水供養のためと、いわれる。



地輪や水輪は、石臼や遺物石にされて、失われている。多分、これは、さるやうに、残っているんかな。



## 和泉式部の墓

平安の女流歌人、和泉式部は、この地の生まれ。晩年の足取りはわかりませんが、泉の地名にちなみ、ここに墓が立てられました。20余年前まで、墓守をしていたのは、2人の尼僧さん。よく探すと境内のいたる所に、寄進者の名前が。それか、全部、「ウメ」さん、「こはる」さん、だり女の人の名前です。

\*この辺りは古く和泉と呼ばれていました。

ここは女の人のしか、護られへんわ。



## スクープ!

和泉式部は、西念寺の僧に懸想、通ったという説が、この頭来は??

どうも、口説き落とされたみたいなんかなあ。



## ひとくちメモ

山背古道の周辺地域は、ときに「暴れ川」の猛威にさらされながらも工夫を重ね、木津川とその支流がもたらす豊かな恵みを受け、ともにくらししてきました。ことに水運は、この地の流通と交易を支える大動脈であり、木津川沿いの浜は、近くは川向こうの町と、遠くは京、大阪、さらには海外へとつながる玄関口でもあったのです。木津のほかに、木津川市の吐師、城陽市の東上津屋、水主、枇杷庄、十六、井手町の玉水①、木津川市の致②、上粕③などに港や浜、渡し場がありました。



# れきし

- ② 橋の諸兄  
(たちばなのもろえ)旧跡と  
井手寺跡



古代の役所あと、  
正道官衙(しょうどうかんが)遺跡と古墳群 ①



- ③ 「蟹の恩返し伝説」と  
国宝の仏さま、  
蟹満寺

- ⑤ 国一揆ゆかりの  
環濠集落、上狛



- ⑥ 鹿背山不動と  
石仏群

- ⑦ 念仏石と  
ゆるぎ観音



卑弥呼の鏡の謎を秘めた、  
椿井大塚山古墳 ④



- ① 木漏れ日の美しい、  
鴻ノ巣山散策道



- ② やましろの一番早い春、  
青谷梅林

- ③ 万灯呂山の  
見晴らし



- ④ 果樹園と  
木津川の見晴らし

- ⑤ 豊かな水と緑の大正池

- ⑧ ひろびろと気持ちのいい  
木津川の河原

- ⑥ 山吹と桜堤の玉川

- ⑦ 緑豊かな里山、森林公園



- ① 宿場まち・長池(ながいけ)  
むしこ窓に通り庇、  
宿場のおもかげ残る  
まちなみ。



- ② 酒蔵のあるまちなみ・  
奈島(なしま)  
地域に根ざした酒蔵と、  
石の道しるべの残る  
まちなみです。



- ⑤ 茶問屋の並ぶまち・  
上狛(かみこま)  
あちこちから茶の香が  
ただよう、「東神戸」と  
呼ばれた茶問屋のまち。



- ③ 扇状地を見晴らす高台のまちなみ・  
上井手(かみいで)  
高みに氏神の社を抱き、  
扇状地を見晴らす  
気持ちの良い高台のまちなみ。



- ④ 谷あいの美しい里・  
神童子(じんどうじ)  
美しい棚田の連なる  
田園風景を抜けるとあらわれる里。  
役行者ゆかりのお寺があります。



- ⑥ 「木の津」・木津(きづ)  
木津川とともに  
暮らしてきた人びとの  
くらしの知恵が見つかります。



# くらし

## そのほか たんたんおススメポイント



北の城陽の方へ京都風の流造(ながれどろ)  
南の木津の方へ行くに1送って

奈良風の春日造(かすがどろ)になつく

本殿  
神様がまつ  
してある所

拝殿  
神事をする所

神木

他に立派な「舞殿」が  
木津川の岡田神社  
あちこちにちまっているよ。

狛犬  
狢(ねこ)を形どったもの  
狐や牛などの神の使い  
を置いている所もある

狢  
狸

神社の鎮守の杜  
は、とても豊か。この  
土地の古くからの姿が  
残っているんだよ。  
ドンぐリが いっぱい!!

水飲み場ではナイ!  
口をすすぎ 手を洗い  
身を清める所

土井の蛇の神社が  
井手町にあるよ  
どこ?

手水舎

なるほど! 神社・仏閣

3 「如来」にようい  
修業を完成し  
悟りを開いた仏。  
「紫雲如来」  
「阿弥陀如来」など  
装飾をつけないシンプルなスタイル。  
●蟹満寺は釈迦如来

「菩薩 ぼつさ」  
小悟りを求めて  
修行をする人。  
「観世音菩薩」  
「地藏菩薩」など  
・泉橋寺に「地藏菩薩

「明王 みやおう」  
 言語悪魔を戒めるために  
 円通し考案をしている。  
 「不動大明王」受梁明王など  
 ・唐招提山にお不動さん

本館ががまふししてある所

鬼瓦  
白鷺をきかせてお寺を護る。  
父・父除けのシビ(魚の尾の  
)が乗っていることもある。

こんなの →  
「印塔」がねてる。  
これは、お坊さん  
のお墓なんだよ。

## ヒント①

ヒント②

周囲に**土器**や**埴輪**のカケラが落ちている。

周囲に**昇石**が落ちている。(これは日本の古墳の  
特徴的な工法で、斜面を固めるために敷き詰めた)

て、べんに登ると**大きな石**(部屋をつくった)や、何者かに掘りおこされた**穴**(たいていの古墳はすでに荒らされている)がある。

ヒント ③

古墳の見つけかた

古墳博士へステップアップ!

**かたち** 日本にある古墳の代表選手

前方後円墳

前方後方墳

◎ 田壩

方塘

**年代** 大きく3つに分けられる

前期(4世紀)

高いところにある大型のもの  
(山の形を利用してつくった)  
木津川市の椿井大塚山古墳  
など

### 中期(5世紀)

低いところにある大型のもの  
(技術の発達により平野部にも進出)  
● 城陽市の車塚古墳など

後期(6世紀)

山の陵線にある小型の群れ  
(多くの人が自分の墓をつくるようになった)  
●井手町の茶臼塚古墳など

40面近くの鏡が  
出土。そのうちのほとんどが  
異称呼の鏡といわれている  
「三角縁神兽鏡」  
なのだ!



「アスピアやましろ」に  
レオリカがあるよ!



(北南面)

(北東面)

南奈良街道

☐ 木津  
☐ 三里  
☐ 四里半

是北京都街道

☐ 新田  
☐ 伏見  
☐ 三里  
☐ 五里

## 問1

□ をつめてみよう。  
このあたりが、(三三三三) (五里五里) の里と  
呼ばれるゆえんが道しるべに刻まれているよ。  
ぼしょ かわいい場所は4ページを見てね。

道しるべからの道しるべ

## 問2

どこを案内している  
道しるべでしよう。  
昔の漢字だけじゃまちがえやすい  
写してね。  
この先には滝があるよ。  
ぼしょ 府道70号線沿い、  
十字路の北東角にあるよ。

(西面)

道  
是ヨリ東

道しるべからの道しるべ

## 問3

(西面)

西京都街道

☐ 二里  
☐ 三里  
☐ 四里  
☐ 伏見六里  
☐ 京都七里

□ をつめてみよう。  
この道しるべが建た当時(昭和4年)の  
主なまちの名前が各々彫ってあるよ。  
ぼしょ JR奈良線の駅名といふだよ。  
木津川の山城町側の堤防、旧泉橋の  
がかっていたところに建てています。

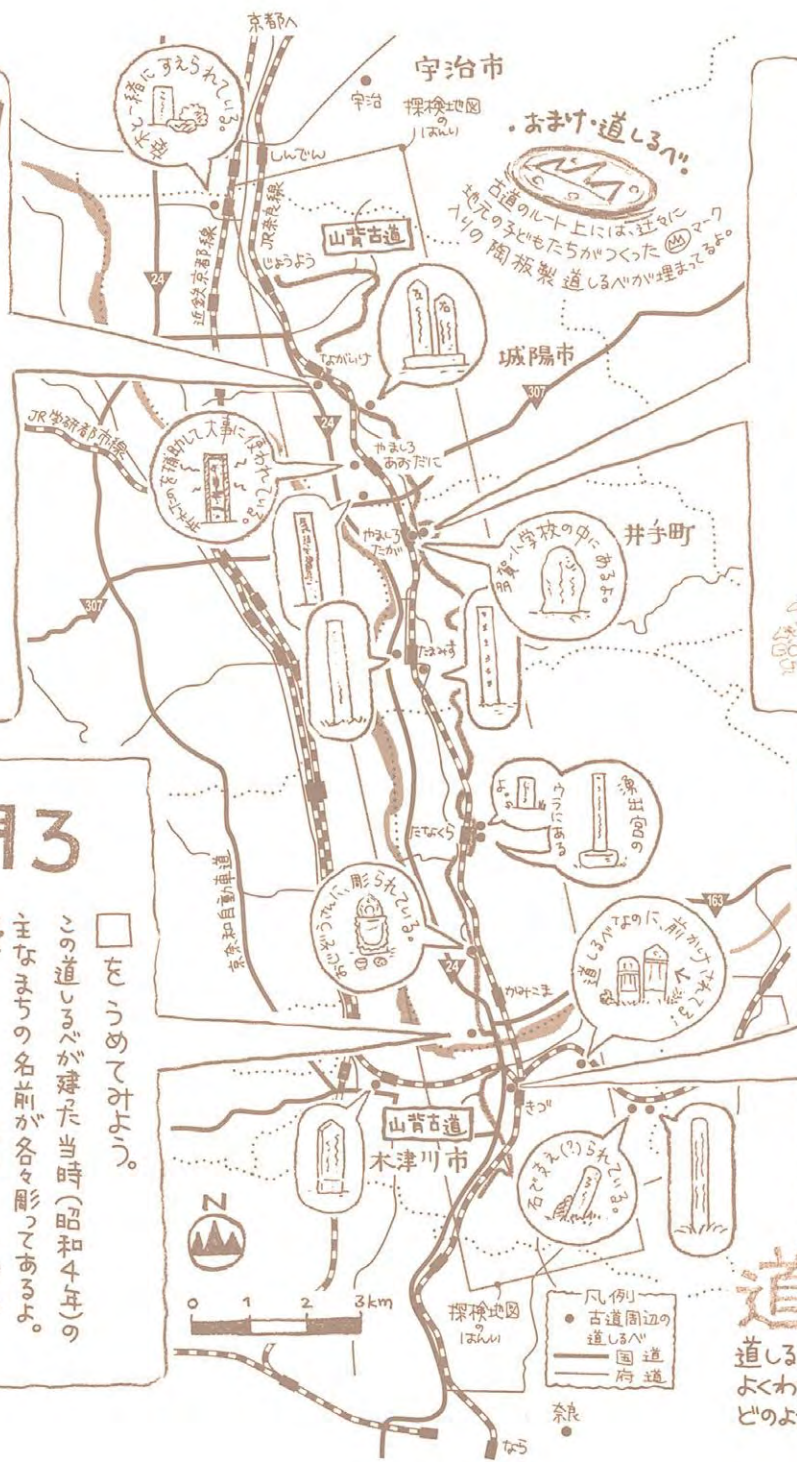
道しるべからの道しるべ

## 問4

どこを案内している  
道しるべでしよう。  
ぼしょ 鹿背山にあるものといえは、  
JR木津駅前通りの  
西へ向かい、少し先の角を  
北へ入ったところにあります。

(西面)

厄除



道しるべからの道しるべ

道しるべをよく見ると、どのように道がつながっているか、  
よくわかる。  
どのように人が行き来してきたか、想像してみよう。



てん じょう がわ

# 天井川と何回出会えた?

—フシギな風景・天井川—

川の水面が 地面より高い位置にある。これが「天井川」。

奈良の都に  
近かったこの地域は、  
昔、寺院の建設や  
燃料に用いるため  
山々の樹木が  
乱伐されました。  
江戸時代には、一帯が  
はげ山だったのです。  
そのため、山の土砂が  
川づたいにどんどん  
流れ出して  
いきました。

木津川に流れ込む天井川



天井川のできるまで

1

最初はフツウの川だった。

2

山から流れてくる砂で  
川床が高くなる。  
洪水を防ぐため、土砂を  
かい出し、堤防を高めていく。

3

ついに水面が屋根より  
上に!! なんと川の下に  
トンネルができ、  
人や車、列車も  
通る。このトンネル、  
通称「マンボ」というんだって。

丸いのは  
「マルコマンボ」

3連のは  
「ミツマンボ」

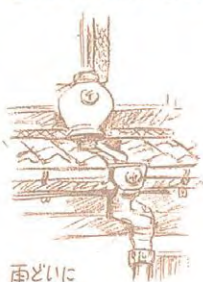
## 茶間屋ウオッチング

上粕の茶は  
「東神戸」とも呼ばれ  
たいそうにぎわって  
いたという

茶間屋の  
たたずまい



木津川市上粕南部には、たくさん茶間屋があるよ。明治のころ、  
ここでブレンドされたお茶は木津川を船で下り、アメリカ、イギリスへ輸出  
されてたんだって。ちょっと見ただけでは「気づかない」茶間屋をよく見てみよう。



雨どいに  
茶壺が

軒下にも  
謎の茶壺



◎ 探してみよう

茶間屋のフシギ物件

壁にも茶壺?

車馬で  
なんだ?



### 上粕の歩き方

細い路地  
が多いから、どんどん入り込んでみよう!

上粕駅

山背古道

木津川

24



大正中期に作られた  
四国八十八所巡り用の  
お地蔵さんの木に88個  
あるのかな？  
(木津川市・上狹)



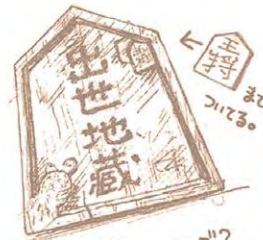
おそろいのまえかけを  
つけてもらって、ハイポーズ☆  
(木津川市・木津)

# おじいさん 大集合！

このあたりを歩くとたくさん出会う  
お地蔵さんの土地を守り、守られている  
みんないいカオをしているよ



きれいに化粧を  
された3人衆。  
(城陽市・長池)



ムムッ!?  
「出世地蔵」ってナンダ？  
(木津川市・耕田)



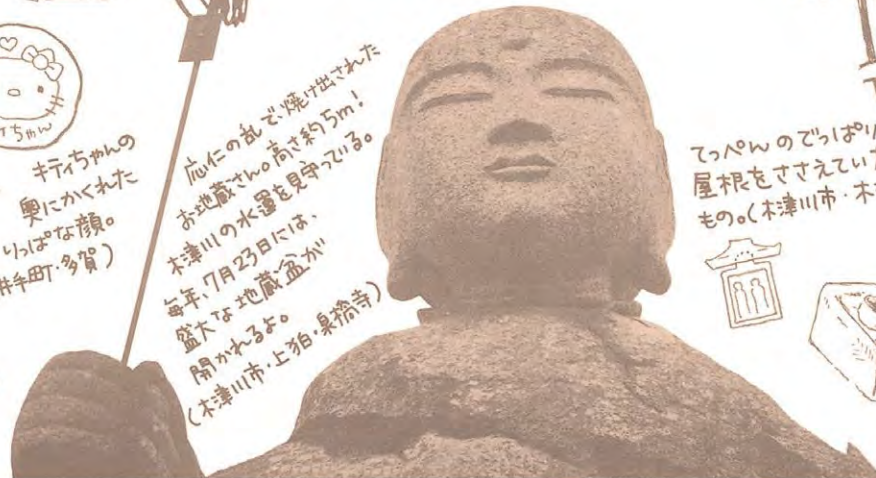
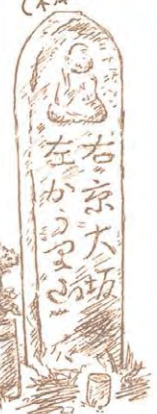
キティちゃんの  
奥にかくれた  
りっぱな顔。  
(井手町・多賀)

庵にのれど、焼けた  
お地蔵さんの高さ約5m!  
木津川の水量を見守っている。  
毎年、7月23日には、  
盛大な地蔵盆が  
開かれるよ。  
(木津川市・上白・泉徳寺)



てっぺんのでっぴりは、  
屋根をささえていた  
もの。(木津川市・木津)

道案内も  
してくれる  
お地蔵さん。  
右「京・大坂」、  
左「かうま山」  
とある。  
(木津川市・相楽)



## お母ちゃんの かっぽう着



ふきのとう、たらの芽、つくし  
よもぎ、竹の子... 山菜が  
食卓に並び、春の訪れを  
感じます。

## 歳時記

### ちまき

木津川の  
河川敷で採れる  
葎(わら)の草を束に  
くると巻き上げる



秋果りのごちそう。  
たくさん作って竹の皮で  
包みます。

竹林の多いやましろ。  
竹の皮を使った工夫がいろいろ



煮物の時  
お鍋の底に  
敷き詰めてコゲ防止

### 梅干し

城陽の青谷には  
とて多い梅林が。  
塩漬けた梅の実が  
真夏のお日差しに3日間  
干します。(土用干し)  
しとは、ゆかりに。

## 夏

食物が  
いたみやすい季節。  
保存の知恵が  
生かされます。

## 秋

### 切干し大根

火で採れた大根の皮を  
細く切った天日に干す。

これからやってくる  
冬に向けて  
秋の笑いを加え  
保存しておきます。

### コロ柿

三芳柿を干し、コロコロがして  
まぶしに米粉をふかせる。  
お正月のお金匁の上にも  
のせます。

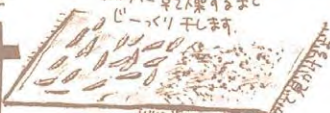
### かりん酒

庭先に実ったかりんを  
1か月間、ホウトリカーに  
漬けて完成。



### 大豆・小豆

カラカラに乾かすまで  
じっくり干します。



### おもち

年末は おもちつき。  
豆、エビ、ゴマなどを入れた  
寒もち(かきもち)も。



お正月の準備。  
家ごとに各々の  
習慣や味が  
あります。



## JRを利用する場合は…

**京都または奈良からは** JR奈良線に乗って、古道沿線の8つの駅（城陽駅、長池駅、山城青谷駅、山城多賀駅、玉水駅、棚倉駅、上粕駅、木津駅）のいずれかの駅で降りてください。

**大阪からは** JR片町線（学研都市線）を利用し木津駅経由または、JR関西本線を利用し奈良駅経由でJR奈良線にアクセスしてください。

## 近鉄電車を利用する場合は…

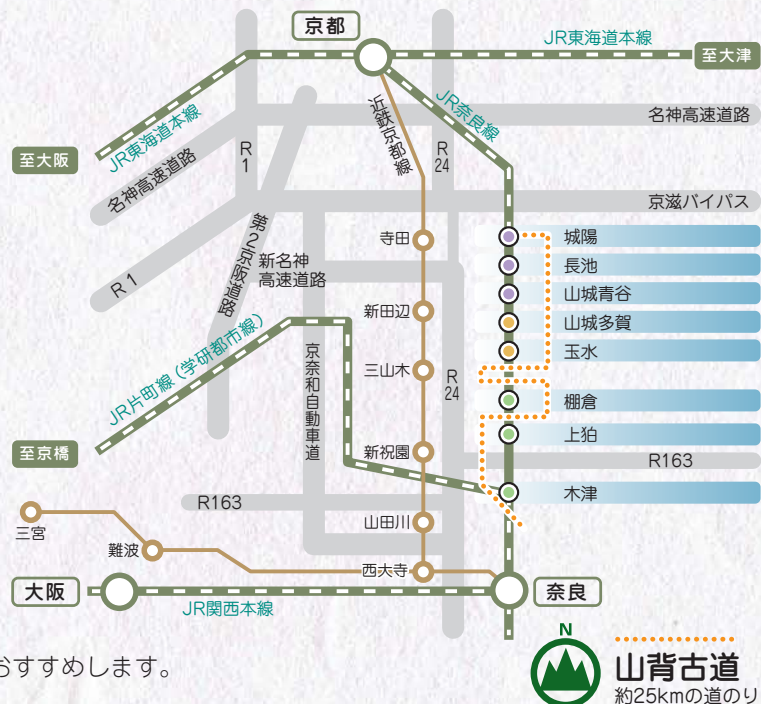
近鉄京都線の寺田駅から徒歩で約15分。

または新田辺駅、三山木駅、新祝園駅、山田川駅、高の原駅で下車し、バスまたはタクシーを利用してください。

## 車を利用する場合は… 最寄の公共駐車場を利用してください。

- **城陽市**：城陽市役所・城陽市総合運動公園・城陽五里五里の丘
- **井手町**：自然休養村管理センター
- **木津川市**：木津川市役所・木津川市山城支所（開庁日のみ）

※ 山背古道を自由に散策するなら、最寄りの場所まで公共交通機関と徒歩をおすすめします。



## 山背古道推進協議会

**事務局**：城陽市役所 商工観光課 ☎ 0774-56-4019 〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地  
井手町役場 企画財政課 ☎ 0774-82-6162 〒610-0302 京都府綴喜郡井手町井手南玉水67  
木津川市役所 観光商工課 ☎ 0774-75-1216 〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9

発行 ● 山背古道推進協議会（城陽市・井手町・木津川市）

<http://www.yamashiro-kodo.gr.jp>